

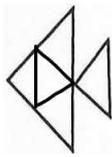
算数授業のめあてとポイント

令和6年3月号

東京書籍対応

☆ 思考力・説明力を重視した「単元のめあて」を意識し、「授業のポイント」に留意することで、児童が主体的・対話的に学びを深めて、学力の向上が図られるようにしましょう。

(K・・・啓林館, G・・・学校図書, T・・・東京書籍)

学年	単元	単元のめあてと授業のポイント
1年	2巻 ^⑮ かたち づくり 同様単元 K11月 ^⑰ G3月 ^⑱	<p>◎単元のめあて(例)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>いろいろたや ぼうを ならべたり うごかしたり せんでつないだりして、 かたちの ひみつを見つけて、はなそう。</p> </div> <p>◎授業のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 色板(p.120 ^①)や棒(p.123 ^⑤)を並べて様々な形を構成したり分解したりする中で、「さんかく」「しかく」が形作られていることや 様々な形の中に「さんかく」「しかく」があるなど、多面的な見方ができるようにする。 p.121 ^②では、色板をずらす・回す・裏返すなどを口ずさみながら操作する中で、向きが変わっても同じ形であることが意識できるようにする。 p.121 ^③～p.122 ^④では、作るだけでなく、どんな形を使って どのように動かして(ずらす,回す,裏返すなど)できているのか、分かるようにする。 実際に  を置いて 向きや数が分かるようにすることが、大切である。 p.123 ^⑤では、棒の数は変えないで 棒の位置を変えることで、形が変わることに気付くようにする。 
	2巻 1ねんの ふくしゅ う	<p>◎授業のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年間に身に付けた知識技能を活用して、1年のまとめができるようにする。 迷う問題については、子ども自ら教科書の該当単元を開いて振り返りながら 学習できるようにする。
2年	下巻 計算ピラ ミッド	<p>◎授業のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> どのマスから計算すればよいかを考えて、和や差を順序よく求めることができるようにする。 きまりを見つけて予測しそれを確かめる学習は、4年「変わり方調べ」に繋がる。
	下巻 2年のふ くしゅ う	<p>◎授業のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年間に身に付けた知識技能を活用して、2年のまとめができるようにする。 迷う問題については、子ども自ら教科書の該当単元を開いて振り返りながら 学習できるようにする。
3年	下巻 ^⑲ ぼう グラフと 表 同様単元 K6月 ^⑳ G7月 ^㉑	<p>◎単元のめあて(例)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>調べたいことに合った整理のしかたを考え、表やグラフに表して読み取り、 せつ明しよう。</p> </div> <p>◎授業のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年「グラフと表」では 項目ごとに資料の個数を数えていたが、本単元では、資料として何度も調べられない事象(例：通行車両調べなど)を扱って、どの項目に入るのかを 正の字等を用いて記録した後、数えていく必要性が持てるようにすることが大切である。 p.97～104では、表や棒グラフを用いて 事象について考察するだけであつたり、技能中心の活動であつたりするのではなく、単元のめあてを意識した学習になるよう、「調べたいことに

		<p>合った目盛りの大きさ」とか、「3・4年合わせた けがのようすを表すグラフのかき方」とか、「11月～1月を合わせた けがのようすを表すグラフのかき方」などを話し合い、表やグラフに表して <u>特徴や傾向</u>を伝えるものになっているかを検討し合うことが大切である。そして、「けがの人数の多い場所・少ない場所があること」や、「けがの人数の増え方減り方に違いがある」などのデータの<u>特徴や傾向</u>を捉えて、<u>その背景</u>を、児童の運動能力の向上・降雨による運動時間の減少・場所ごとの運動の適性などから 考察し、<u>学級内で発表して 説明</u>できるようにする。</p> <p>【小学校学習指導要領(平成29年告示)解説算数編 p.170～171D(1)イ(ア)参照】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・p.101 3年生のけがの様子がよく分かる表は、縦と横の二つの項目に注目する必要がある表である。このことは、4年上巻②「折れ線グラフと表」(2つのことから)の学習に発展する。
	<p>下巻 そろばん 同様単元 K3月 G3月⑩</p>	<p>◎授業のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そろばんのしくみ(5珠)に着目し、指の使い方や珠の運び方には あまりこだわらず、数の多様な見方を用いた計算のしかたを考えることができるようにする。 $2 + 4 \rightarrow 2 + \textcircled{5} - 1 \qquad 8 - 4 \rightarrow 8 - \textcircled{5} + 1$ $9 + 2 \rightarrow 9 + \textcircled{10} - 8 \qquad 11 - 3 \rightarrow 11 - \textcircled{10} + 7$
	<p>下巻 間の数に 注目して 同様単元 K3年12月 K5年7月</p>	<p>◎授業のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図にかいて問題設定を再現しながら、直線上に配置された場合と円周上に配置された場合について、等間隔に配置されたものの数と その間の数との関係を 考察していくようにする。 ・児童の主體的な学びができるように、以下の算数教育情報を参照する。 <p>【HP 算数教育情報コーナー「文章題のめあてとまとめ 解決の道筋(3年間の数)」参照】</p>
	<p>下巻 3年の ふくしゅう</p>	<p>◎授業のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上巻の教科書を持ってきて、自ら振り返りながら学習できるようにする。 ・単位換算は、各単元に戻って きちんとできるようにする。 ・時間の計算の習熟を 図るようにする。
4年	<p>下巻 共通部分に注目して 同様単元 K5年10月</p>	<p>◎授業のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を取捨選択して、その数量関係を図や表を用いて整理し、問題を解決できるようにする。 ・学習指導要領で重視されている活用力や説明力を伸ばすようにする。
	<p>下巻 ぼうさい について 考えよう</p>	<p>◎授業のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1～4のデータが表している事柄の意味を読み取ってから、各問題に取り組むようにする。 ・目的に応じてグラフなどのデータを選択して問題解決を図る学習は、5年下巻⑮「帯グラフと円グラフ」に発展する。
	<p>下巻 4年のふ くしゅう</p>	<p>◎授業のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上巻の教科書を持ってきて、児童自身が 自ら振り返りながら学習できるようにする。 ・概数の求め方や数の構成について、習熟を図るようにする。
5年	<p>下巻 もとにする大き さに注目して</p>	<p>◎授業のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を取捨選択して その数量関係を図や表を用いて整理し、問題を解決できるようにする。 ・学習指導要領で重視されている活用力や説明力を伸ばすようにする。
	<p>下巻 図をくわく 調べる</p>	<p>◎授業のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データを 量でみたり 割合でみたりするなど、観点を変えて整理し 見直してみたりすることで、結論について多面的に捉えて考察できるようにする。
	<p>下巻 5年のふ くしゅう</p>	<p>◎授業のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年の上下巻、5年の上巻の教科書を持ってきて、自ら振り返りながら学習できるようにする。

6年	算数 卒業旅行	◎授業のポイント ・興味関心によって選択して学習し、算数の楽しさが実感できる単元である。
----	------------	---

<お知らせと お願い>

「算数授業のめあてとポイント」や「算数教育 情報コーナー」等を ご覧いただき、日々の実践に役立ててください。

なお、これらについてのご意見ご質問および「算数教育ネットワーク岡山」の活動への参加希望は、

seiden_atmark_po.harenet.ne.jp まで Mail でお知らせ下さい。

(スパム対策です。お手数ですが _atmark_ を, @に直して下さい。)